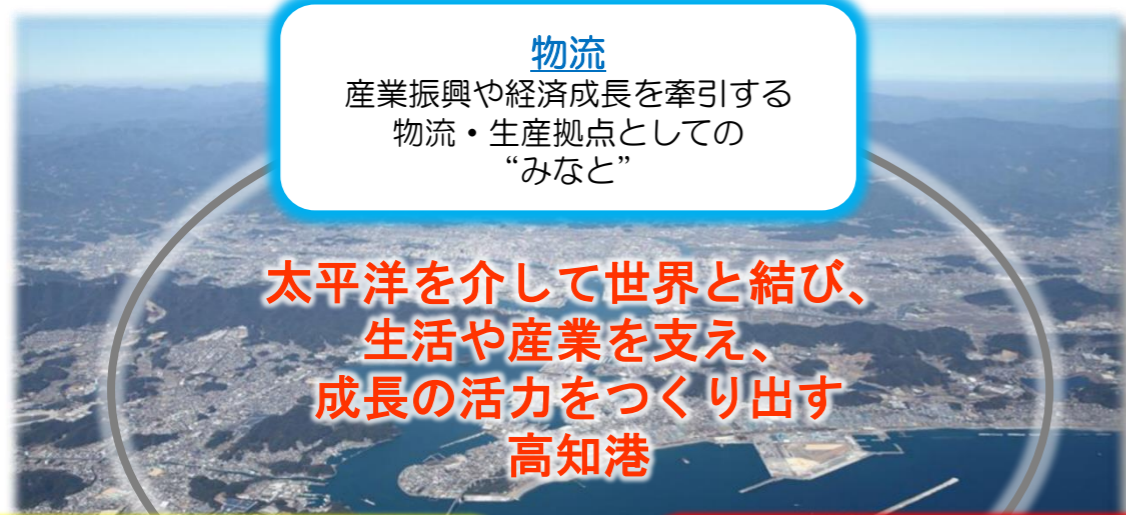


高知港の将来像・高知港長期構想の基本戦略



物流
産業振興や経済成長を牽引する
物流・生産拠点としての
“みなと”

太平洋を介して世界と結び、
生活や産業を支え、
成長の活力をつくり出す
高知港

交流
国内外の旅行者や市民に開かれた
交流の場としての
“みなと”

安全・安心
自然災害や老朽化に対する安全や安
心を確認する場としての
“みなと”

高知港で解決すべき課題に対する将来像実現のため、物流面、交流面、安全・安心面それぞれにおいて、以下の**基本戦略**を設定します。

将来像	<p>【物流】</p> <p>産業振興や経済成長を牽引する 物流・生産拠点としての “みなと”</p>	<p>【交流】</p> <p>国内外の旅行者や市民に開かれた 交流の場としての “みなと”</p>	<p>【安全・安心】</p> <p>自然災害や老朽化に対する 安全や安心を確認する場としての “みなと”</p>
目指すべき姿	<p>県産品の地産外商促進、 地域産業の持続的な発展のため、 競争力強化に資する 国際物流拠点の形成を目指す</p>	<p>西日本太平洋側における国際クル ーズ拠点を形成するとともに、 地域資源を活用した魅力的な空間 を形成し、賑わいの創出や 地域活性化を目指す</p>	<p>災害に強い港づくりを目指すとも に、港湾利用者が安全・安心を 実感できる港の構築を目指す</p>
基本戦略	<p>■基本戦略1 地域産業の持続的な発展や競争力 強化に資する港湾機能の強化と埠 頭の再編</p> <p>■基本戦略2 地産外商を支え、県内企業の国際 競争力を強化するための国際コン テナ物流拠点の形成</p> <p>■基本戦略7 情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化への対応</p>	<p>■基本戦略3 クルーズ船の受入機能や体制の強 化によるクルーズ拠点の形成</p> <p>■基本戦略4 地域の魅力や観光資源を活用した 賑わい空間の形成</p>	<p>■基本戦略5 安全な企業活動や安心な暮らしを 維持するための港湾の防災機能強化</p> <p>■基本戦略6 既存ストックの適正管理と有効活 用するための戦略的ストックマネ ジメントの推進</p>

高知港が将来担うべき役割

高知港の特性

- 太平洋に面し、地理的優位を持つ
- 県内唯一のコンテナ取扱い港湾
- 高知港周辺の道路ネットワークの向上
- クルーズ船寄港の増加

高知港を取り巻く諸情勢

- 人口の減少、高齢化の進行
- コンテナ船、バルク船の大型化
- 南海トラフ地震への対策
- 労働力不足（トラック輸送）

上位・関連計画

- 港湾の中長期政策「PORT2030」
- 高知県産業振興計画
- 高知県地域防災計画
- 高知市総合計画 他

高知港への要請

- 施設の老朽化対策
- 水深の確保
- 高知新港メインバース前面における静穏度の確保

高知港の将来に向けた課題

【物流】

- 埠頭再編

【交流】

- 賑わいの創出
- 海洋レジャーへの対応

【安全・安心】

- 防災拠点としての機能強化
- 港湾施設の老朽化対策

【物流】

- 埠頭再編
- 港内静穏度の向上
- モーダルシフトへの対応
- コンテナ船大型化への対応
- コンテナの集荷・創貨方策

【交流】

- クルーズ船寄港の定着化・増大への対応

【安全・安心】

- 防災拠点としての機能強化

高知港が将来担うべき役割

- 【役割①→物流】**
地産外商を支える輸出拠点であるとともに、地場産業の競争力強化を支援し、地域経済の発展に貢献する港
- 【役割②→交流】**
周辺の観光資源やまちづくりと一体となった魅力ある空間を形成し、西日本太平洋側における国際クルーズ船寄港の交流拠点として国際観光の推進に貢献する港
- 【役割③→安全・安心】**
南海トラフ地震に備えて、地域の安全と安心の確保に貢献する港

基本戦略1 地域産業の持続的な発展や競争力強化に資する港湾機能の強化と埠頭の再編

①-1【三里地区】西工区 港湾活動用地の造成⇒浚渫土の有効活用

・安定的な物流機能を確保するため、浚渫土を有効活用した埋立により、港湾活動用地を造成します。

①-2【三里地区】（西工区）国際物流ターミナル整備（バルク貨物への対応）

・バルク貨物の増加（石灰石の増量）へ対応するための大水深岸壁（10m～12m）の整備を行い、地場産業の競争力強化を図ります。

②【三里地区】（仮防波堤前面）国際物流ターミナル整備

⇒既存ストックの有効活用

・バルク貨物の分散による混雑の緩和や新規貨物に対応するため、仮防波堤の沖側に大水深岸壁（12m～14m）を整備し、物流の効率化や生産性の向上を図ります。

③荷役障害の解消や機会損失を防ぐための港内静穏度の向上

・高知新港において安定的な物流を維持するために防波堤の早期整備を推進します。

④県内企業のニーズにあった海陸一貫輸送システムの構築（フェリー・RORO航路の誘致）

・陸上輸送の代替手段の確保により、物流の効率化に資する航路の誘致を目指します。



施策の内容	スケジュール		
	短期 (10年)	中期 (20年)	長期 (30年)
①-1【三里地区】（西工区）港湾活動用地の造成	→	→	
①-2【三里地区】（西工区）国際物流ターミナル整備			→
②【三里地区】（仮防波堤前面）国際物流ターミナル整備	→	→	
③ 荷役障害の解消や機会損失を防ぐための港内静穏度の向上	→		
④ 県内企業のニーズにあった海陸一貫輸送システムの構築	→	→	→

基本戦略2 地産外商を支え、県内企業の国際競争力を強化するための国際コンテナ物流拠点の形成

①コンテナ船の大型化に対応した係留機能の強化

・三里地区-8m岸壁及び前面泊地を増深（-10m～-12m）し、コンテナ物流の安定化による県内企業の国際競争力強化を目指します。

②県内の他港利用貨物を取り込むための集荷機能向上

・高知港に寄港する便数の増加や東南アジアへのダイレクト航路の開設など利用需要の多い航路の誘致を図り、県産品の輸出促進や企業の国際競争力強化を目指します。

③農林水産物の輸出促進拠点の形成

・必要な港湾機能の向上や物流サービスの提供により、輸出促進拠点の形成を図ります。



施策の内容	スケジュール		
	短期 (10年)	中期 (20年)	長期 (30年)
①【三里地区】-8mコンテナ岸壁の増深	→		
②県内の他港利用貨物を取り込むための集荷機能の向上	→	→	→
③農林水産物の輸出促進拠点の形成	→	→	→

基本戦略3 クルーズ船の受入機能や体制の強化によるクルーズ拠点の形成

①世界最大級のクルーズ船に対応した港湾機能の強化

・三里地区において、クルーズ船の大型化への対応や複数のクルーズ船が同時接岸できる受入環境を整備します。

②クルーズ船の誘致や受入体制の充実化

・多種多様なクルーズ船に対して、それぞれに見合った誘致方策を検討し、客船寄港の定着化・増大を目指します。加えて、新たな周遊ルートづくりなど魅力ある観光商品を開発するとともに、観光地の分散化などを図り、客船寄港による経済効果をさらに拡大していきます。



施策の内容	スケジュール		
	短期 (10年)	中期 (20年)	長期 (30年)
①世界最大級のクルーズ船に対応した港湾機能の強化	→		
②クルーズ船の誘致や受入体制の充実化	→	→	→

基本戦略4 地域の魅力や観光資源を活用した賑わい空間の形成

①良好な水辺空間に市民や旅行客が集い、楽しく留まることが出来る空間の形成

・【潮江地区】周辺施設等と連携するとともに、「みなと」と「まち」が融合した魅力ある賑わい空間を形成し、地域ブランド価値の向上を図ります。
・【三里地区】観光資源として有効活用するため、防波堤等をレジャー施設として開放します。

②高知港内における小型旅客船ネットワークの構築

・浦戸湾や周辺の観光資源を生かすため、陸上交通とも連携した市民・観光客の足となる港内海上輸送ネットワーク（小型旅客船ネットワーク）を構築し、小型旅客船を活用した水辺と個性的な各施設の回遊性向上を目指し、新たな「まちあそび」創出します。



施策の内容	スケジュール		
	短期 (10年)	中期 (20年)	長期 (30年)
①【潮江地区】良好な水辺空間に市民や旅行客が集い楽しむことが出来る空間の形成	→	→	
①【三里地区】観光資源として有効活用するためのレジャー空間の形成	→	→	
②高知港内における小型旅客船ネットワークの構築	→		

基本戦略5 安全な企業活動や安心な暮らしを維持するための港湾の防災機能強化

①防災拠点港としての機能強化

・津波に対して、防災減災効果を発揮できるよう、三重防護事業の第一ラインとなる現在整備中の防波堤の延伸・粘り強い化について早期に完成させ、安全で安心な港を目指します。

②防災拠点港としての機能強化

・三里地区に、新たに大規模災害時における緊急物資の輸送用の耐震強化岸壁を配置し、地域防災力の強化を目指します。

③訓練等を通じた実効性の担保による港湾BCPの充実（BCM実施）

・大規模災害時における実行性を向上させるために、定期的な机上訓練や緊急物資の輸送訓練等を通してPDCAサイクルに基づいた港湾BCPの充実を図ります。



施策の内容	スケジュール		
	短期 (10年)	中期 (20年)	長期 (30年)
①【三里地区】防波堤の延伸・粘り強い化の早期完成	→		
②【三里地区】耐震強化岸壁の整備	→		
③訓練等を通じた実効性の担保による 港湾BCPの充実	→	→	→

基本戦略6 既存ストックの適正管理と有効活用するための戦略的ストックマネジメントの推進

①適切な維持管理計画の更新、維持管理計画に基づいた点検・補修・長寿命化工事の実施

・維持管理計画に基づき点検・調査を実施するとともに、施設の劣化状況や利用状況を踏まえ対策の優先順位づけを行い、適切な時期に補修・長寿命化工事を実施しています。

②利用状況や将来的な利用計画に応じた機能集約や見直しによる埠頭の再編

・浦戸湾内は港湾施設の将来動向を見据え、残すべき既存ストックを選別するとともに、機能の集約化やスペック見直し等を図ることにより、コンパクトで効率的な埠頭へ再編します。



施策の内容	スケジュール		
	短期 (10年)	中期 (20年)	長期 (30年)
①適切な維持管理計画の更新、維持管理計画に基づく点検・補修・長寿命化工事の実施	→	→	→
②利用状況や将来的な利用計画に応じた機能の集約や見直しによる埠頭の再編	→	→	→

基本戦略7 情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化への対応

①情報通信技術の積極的活用

・AI、IoT等革新的に進化する情報通信技術を積極的に取り入れ、物流の効率化・安定化を図っていくとともに、災害時における緊急物資輸送等の円滑化を図り、物流機能維持につなげていきます。

施策の内容	スケジュール		
	短期 (10年)	中期 (20年)	長期 (30年)
①情報通信技術の積極的活用	→	→	→

区分	目指す将来イメージ
国際コンテナ輸送フェリー・RORO輸送	AIやIoT、自動化技術を組み合わせた、コンテナ産業の最先端化や貨物の積入・積出の迅速化等を図ることにより、生産性を有するコンテナターミナルの形成 AI等を活用した船舶の自動運航・航行支援技術の導入や高規格な荷役機械・岸壁施設、自動運航船舶と連携した自動離岸システム、ターミナル内横持ち自動運航等の導入 シャーンにリアルタイムで船隻を把握する情報通信技術を整備し、共同利用を推進することにより輸送の効率化の推進
防災時の情報収集・情報提供	IoTを活用した高度なセンシング技術やドローン等を活用し、早期に被災状況を把握する体制の構築 大規模災害発生後、被災状況や港湾・道路等のインフラの利用可否、代替ルート 情報等を迅速に提供できるシステムの導入

空間ゾーニング

・基本戦略を踏まえた、高知港長期構想における空間ゾーニングを以下のように設定します。



【凡例】

- 物流・産業関連ゾーン (Blue dashed box)
- 船溜まり関連ゾーン (Purple dashed box)
- 交流拠点(にぎわい)ゾーン (Yellow dashed box)
- レクリエーション・緑地ゾーン (Green dashed box)
- 防災ゾーン (Red dashed box)
- エネルギーゾーン (Orange dashed box)
- 水産業ゾーン (Light blue dashed box)